キャラクター名
七瀬　竜胆

プレイヤー名

シンドローム	バロール バロール	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	16	性別	女
覚醒	渇望	衝動	嫌悪	初期侵食率	32 %
出自	母親不在	経験	記憶喪失	邂逅	貸し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	2	0	0			2
精神	4	1	0			5
社会	2	0	0			2

HP	27
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	4		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達		
運転：			芸術：			知識：	1		情報：UGN	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
《組み合わせ》		0				
魔眼展開（セット）		0				
⑥+⑦		0				対象の行動値を+14。範囲（選択）。
【80%】⑥+⑦		0				対象の行動値を+16。範囲（選択）。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
コネ：要人への貸し	
母親の懐中時計	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス：起源種	P　遺志	N　恐怖		
高橋　透	P　信頼	N　不安		
母親	P 好奇心	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：バロール	1	2	メジャー					
効果：組み合わせた判定のクリティカル値を-LVする。								
死神の瞳	7	3	メジャー	視界	単体	対決		
効果 :射撃攻撃を行い、命中した場合、対象が次に受けるダメージを[LV+2]D上昇させる。このエフェクトを組み合わせた攻撃でダメージは与えられない。								
因果歪曲	1	3	メジャー		範囲（選択）			
効果 :このエフェクトを組み合わせたエフェクトの対象を範囲（選択）に変更する。1シナリオLV回まで。自身と同エンゲージの相手を対象に出来ない。								
赤方偏移世界	7	2	セットアップ	視界	単体	自動		
効果：そのラウンド中、対象の行動値を+[LV*2]し、戦闘移動の距離を+10m。								
コズミックインフレーション	2	2	セットアップ		範囲（選択）		ピュア	
効果：このエフェクトを組み合わせたエフェクトの対象を範囲（選択）に変更する。1シナリオLV回まで。								
紡ぎの魔眼	3	1	オート	至近	自身	自動		
効果：自身の判定の直前に使用可能。その判定のダイス数を+LV個する。1ラウンド1回まで。								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100	
効果：いつもの								
バディムーヴ	1							
効果：　シーンに登場している自身以外が判定を行った直後に使用できる。その判定の達成値を+3する。1ラウンド1回まで使用可。								
屑鉄の橋	★							
効果：								
刻の魔術師	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

★追加パーソナルデータ★
一人称：ボク
趣味：散歩
好きなこと：人とのふれあい、空を見ること
苦手なこと：子供扱いされること

バロールの起源種の力を持つ少女。
母親は物心がついた時点で既に存在しなかった。
バロールの力を持つ父親に男手一つで育てられ、その為か性格もやや男っぽいところがある。
そして幼い頃から一人で様々なことをこなしていたため、子供扱いされることが苦手。

オーヴァードとしての力が目覚めてすぐ、彼女は父親からUGNに引き渡された。
それはまるで、歪な力を持つ竜胆を厄介払いするかのようで。
何故かは分からないが、きっと父は母の力を側に感じたくなかったのだろう。
その後はチルドレンとして育てられ、多くの任務に参加して、今では年長組に食い込もうとしている。
年下のチルドレンの面倒を見ていることもあってか、やや見栄を張りたがる場面が多い。

自身がオーヴァードとして異端に属することには既に気付いている。
しかし、未だに父と母、そして自分の過去に何があったのか……その記憶を取り戻せては居ない。
故に、竜胆は母を求める。それは子としてか、それともオーヴァードとしてか。
生きているか死んでいるかも分からない。だが彼女はいつかこの秘密を解き明かせると信じ続けている。